

【 熊本研修日記 = 二日目 2022.11.20 】

20日朝9:00 二日酔いの人もなく熊本城へ向け、ホテルを出発。～ わずか10分で到着

改修された天守閣の周囲は、まだ損傷の残る石垣と建造物があり痛々しい風景を目にした。

まだまだ復興の時間が足りない、石垣や建造物を一挙に破壊した地震の強さをまざまざと感じた。

報道で見えていたが、実際現地で見ると違いすぎた。



【 被災当時の天守閣 】



【 現在の宇土櫓 】

城内は通路が整備され、テーマパークの中にお城がある様感じ、少々残念な気持ちで散策。

長期の工事期間なので、城内の雰囲気（景観）に工夫は出来なかったのかと勝手に思う。

綺麗になった天守閣を見上げ、復元の出来に感動し、いざ大天守内部へと進む。

内部は耐震補強部材やE Vの最新設備、歴史資料展示物があり井戸は損傷なかったのか残っていた。

最上階の天守はガラス張りの展望フロアで、風を感じる事は出来なかった。隣の小天守は外観を拝見。

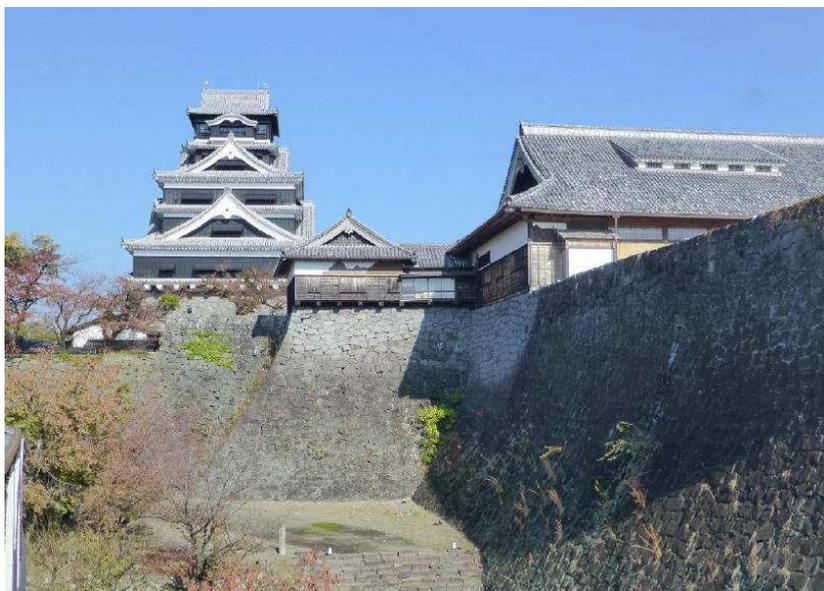
宇土櫓、本丸御殿、数寄屋丸二階御広間、飯田丸五階櫓、大手門など復旧を応援します。



【 現在の宇土櫓 】



【 現在の数寄屋丸二階御広間の石垣 】



年齢を考えると、完成した熊本城を訪問することができるか悔しい思いもあります。

(情報) 熊本市役所 14 階展望ロビーが開放され、熊本城の全景が見渡せるようです。



【 大銀杏の下で休憩中 】

北側ルートから南側ルートを散策して、11:30 分熊本城から阿蘇方面へ出発。

車を走らせ約 60 分、阿蘇大橋の掛かっていた跡地に到着。

橋の崩落、行方不明者で報道されていた場所でもあった黒川河川。

以前車中から見た記憶に残る風景が一変。崩落した山裾と阿蘇大橋の残骸、川底を覗きこみ溜息。

この南阿蘇村地区は大分県建築士会が被災応急危険度判定調査に入った場所でもある。

来る途中、旧道を通りましたが被災のままの家屋がまた残っていた。

個人での復旧は金銭的、年齢、後継者など様々な問題を抱え、公共と個人の差が見えます。



【 崩落した山裾復旧完了 】



【 阿蘇大橋の残骸 】



【 新阿蘇大橋 】



【 白糸の滝 】

昼過ぎ、研修のスケジュールはこれで終了。自分で感じた事を人に伝え災害への関心度を上げたい。

途中、被災した阿蘇神社の復興状況を拝見、昼食後やまなみハイウェイ経由で 17:00 分津久見到着。

ドライバーのお二人、支部長、事務局さん準備有難うございました。（お疲れ様でした）

追伸：研修から 7 日が過ぎ、参加者で発熱等の体調不良の連絡はなく、自主隔離生活も終了です。

=== 完 === 乱文失礼

作：津久見支部副支部長 2022.11.30